



平成24年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 野口 祥吾

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	1,488	22.8	135	52.1	142	57.9	105	96.1
23年12月期第2四半期	1,211	10.7	89	278.8	90	162.9	53	202.2

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 104百万円 (105.4%) 23年12月期第2四半期 50百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年12月期第2四半期	2,190.60	2,187.92
23年12月期第2四半期	1,090.79	1,089.31

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円銭
24年12月期第2四半期	2,251		1,681		72.4	33,826.10
23年12月期	1,958		1,602		79.1	32,162.56

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 1,629百万円 23年12月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年12月期		0.00		600.00	600.00
24年12月期		0.00			
24年12月期(予想)				600.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,200	30.8	240	34.0	240	32.5	160	28.9	3,322.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社インフォーテック、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	51,070 株	23年12月期	51,070 株
期末自己株式数	24年12月期2Q	2,911 株	23年12月期	2,911 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	48,159 株	23年12月期2Q	49,322 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要などを背景とする堅調な内需に支えられ、全般的に明るい兆しが見えているものの、欧州債務危機の長期化や、新興国経済の減速、電力供給に対する懸念など、景気の先行きに対する不透明な状況が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ITソリューションプロバイダとして独自の技術をもつ株式会社インフォテックを平成24年2月17日付けで子会社といたしました。これにより、金融情報サービスベンダーとして「紙媒体と電子媒体の融合」のコンセプトのもとに推進してまいりましたソリューション事業のさらなる展開が図れる体制を構築するとともに、株式会社インフォテックが長年培ってきたITソリューション事業を加え、より一層の多彩なサービスを提供することが可能となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,488百万円（前年同期比276百万円増、22.8%増）、営業利益は135百万円（前年同期比46百万円増、52.1%増）となりました。また、経常利益は142百万円（前年同期比52百万円増、57.9%増）、四半期純利益は105百万円（前年同期比51百万円増、96.1%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

『IFIS Research Manager』（アイフィス・リサーチ・マネージャー）や『IFIS Consensus Manager』（アイフィス・コンセンサス・マネージャー）といった主力商品が、昨今の株式市場の低迷などによる証券会社や運用機関の収益の伸び悩みの影響を受け、業績の伸びに陰りが出てきております。一方、オンライン証券向けのASPサービスが堅調に推移したことに加え、大手証券会社向けASPサービスの導入が前期に引き続き業績に寄与しております。また、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュースも拡大基調を継続しており、順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は292百万円（前年同期比13百万円減、4.3%減）、営業利益は110百万円（前年同期比18百万円減、14.7%減）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

翻訳事業が順調に業績を伸ばすとともに、配送事業が昨年の東日本大震災による業績落ち込みからの回復が見られました。しかし、金融法人における証券調査レポートの電子配信に伴う印刷物の減少や、事業法人におけるIR活動の縮小に伴うコスト圧縮などの流れが続いており、印刷需要全体の減少傾向は昨年に引き続き継続しております。

その結果、売上高は456百万円（前年同期比13百万円増、3.1%増）、営業利益は48百万円（前年同期比4百万円減、8.5%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投信会社において投資信託関連印刷物に対するコスト削減意識が依然として継続しており、当社においても印刷受注量の減少傾向が続いております。一方で確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材が順調に業績を伸ばしており、印刷の受注量減少を補ってまいりました。

その結果、売上高は502百万円（前年同期比40百万円増、8.7%増）、営業利益は133百万円（前年同期比38百万円増、40.5%増）となりました。

<ITソリューション事業>

ITソリューション事業につきましては、第1四半期連結会計期間末より連結の範囲に含めた株式会社インフォテックの四半期損益計算書を、平成24年3月31日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結会計期間より連結しております。当第2四半期連結累計期間においては、当該連結子会社の主力事業である証券・金融業向けシステムソリューションサービスが堅調に推移するとともに、マイグレーションサービスが順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は236,172千円、営業利益は27,467千円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ292百万円増加し2,251百万円となりました。流動資産は285百万円増加し、1,897百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に含めたことにより流動資産が321百万円増加する一方で、株式購入資金として144百万円を支出したことによるものであります。固定資産は7百万円増加し、353百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に含めたことにより固定資産が35百万円増加する一方で、減価償却などの影響によりソフトウェアが17百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ213百万円増加し569百万円となりました。流動負債は188百万円増加し、542百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に含めたことにより、流動負債が163百万円増加したことによるものであります。固定負債は24百万円増加し、27百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に含めたことにより、固定負債が24百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、1,681百万円となりました。主な要因は、四半期純利益105百万円の計上と、剰余金の配当28百万円によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ90百万円増加し1,392百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、取得した資金は166百万円（前年同期は131百万円の取得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益151百万円、減価償却費69百万円、仕入債務の増加額17百万円であります。また、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額17百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は42百万円（前年同期は8百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出33百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は33百万円（前年同期は63百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払い128百万円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、予想値と差異が生じておりますが、平成24年12月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月11日に「第2四半期累計業績予想および通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社インフォーテックを、平成24年2月17日付で株式取得し子会社化したため連結の範囲に含めております。

なお、平成24年3月31日をみなし取得日としたため、当第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を連結しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,351,933	1,447,450
売掛金	211,713	320,331
有価証券	-	11,913
仕掛品	-	51,842
その他	48,957	67,149
貸倒引当金	765	1,111
流動資産合計	1,611,837	1,897,574
固定資産		
有形固定資産	38,161	40,800
無形固定資産		
のれん	1,545	1,103
ソフトウェア	200,506	183,467
ソフトウェア仮勘定	9,540	3,000
その他	604	1,469
無形固定資産合計	212,196	189,041
投資その他の資産	96,262	123,838
固定資産合計	346,620	353,679
資産合計	1,958,458	2,251,254
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,495	222,624
短期借入金	-	32,498
未払法人税等	34,637	38,195
賞与引当金	8,066	9,328
その他	149,117	239,570
流動負債合計	353,317	542,217
固定負債		
長期借入金	-	2,521
退職給付引当金	-	13,454
その他	2,913	11,500
固定負債合計	2,913	27,475
負債合計	356,230	569,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,290	381,290
資本剰余金	437,090	437,090
利益剰余金	808,557	888,783
自己株式	77,912	77,912
株主資本合計	1,549,025	1,629,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	532
為替換算調整勘定	-	312
その他の包括利益累計額合計	108	220
少数株主持分	53,311	52,530
純資産合計	1,602,227	1,681,561
負債純資産合計	1,958,458	2,251,254

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）
売上高	1,211,521	1,488,230
売上原価	713,105	918,784
売上総利益	498,415	569,446
販売費及び一般管理費	409,319	433,914
営業利益	89,096	135,531
営業外収益		
受取利息	351	288
受取配当金	388	142
持分法による投資利益	-	4,329
技術指導料	-	1,634
その他	637	847
営業外収益合計	1,377	7,242
営業外費用		
支払利息	-	273
為替差損	49	-
自己株式取得費用	198	-
営業外費用合計	247	273
経常利益	90,226	142,500
特別利益		
出資金売却益	-	1,445
負ののれん発生益	-	8,142
特別利益合計	-	9,587
特別損失		
固定資産除却損	101	277
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,750	-
特別損失合計	9,851	277
税金等調整前四半期純利益	80,374	151,810
法人税、住民税及び事業税	29,356	36,213
法人税等調整額	59	10,881
法人税等合計	29,416	47,094
少数株主損益調整前四半期純利益	50,957	104,716
少数株主損失（ ）	2,842	780
四半期純利益	53,800	105,497

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	50,957	104,716
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	28	424
持分法適用会社に対する持分相当額	-	312
その他の包括利益合計	28	111
四半期包括利益	50,929	104,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,771	105,385
少数株主に係る四半期包括利益	2,842	780

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	80,374	151,810
減価償却費	69,656	69,740
出資金売却損益(は益)	-	1,445
のれん償却額	2,225	441
負ののれん発生益	-	8,142
貸倒引当金の増減額(は減少)	376	354
賞与引当金の増減額(は減少)	58	6,824
退職給付引当金の増減額(は減少)	-	485
受取利息及び受取配当金	739	430
支払利息	-	273
持分法による投資損益(は益)	-	4,329
固定資産除却損	101	277
売上債権の増減額(は増加)	74,005	8,226
たな卸資産の増減額(は増加)	-	17,840
仕入債務の増減額(は減少)	53,606	17,668
未払消費税等の増減額(は減少)	4,227	2,130
その他	1,082	8,541
小計	166,388	199,515
利息及び配当金の受取額	739	416
利息の支払額	-	199
法人税等の支払額	35,513	33,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,614	166,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	4
有形固定資産の取得による支出	4,207	3,242
無形固定資産の取得による支出	2,385	33,532
投資有価証券の償還による収入	-	249
関係会社出資金の払込による支出	9,204	-
出資金の売却による収入	-	2,606
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	6,702
差入保証金の差入による支出	-	1,166
差入保証金の回収による収入	7,425	25
保険積立金の積立による支出	-	838
定期預金の預入による支出	-	100,300
定期預金の払戻による収入	-	100,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,371	42,906
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	100,000
短期借入金の返済による支出	-	101,251
長期借入金の返済による支出	-	2,913
自己株式の取得による支出	38,186	-
配当金の支払額	24,869	28,895
少数株主への配当金の支払額	460	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,515	33,059
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	59,727	90,513
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,047	1,301,933
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,208,775	1,392,446

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成23年1月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディ スクロージャ ー事業			
売上高						
外部顧客への売上高	305,902	442,850	462,768	1,211,521	-	1,211,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	22,620	-	23,620	23,620	-
計	306,902	465,470	462,768	1,235,141	23,620	1,211,521
セグメント利益	129,222	52,480	95,176	276,879	187,783	89,096

(注) 1. セグメント利益の調整額 187,783千円には、セグメント間取引消去1,278千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 189,061千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディ スクロージャ ー事業	ITソリュー ション事業 (注) 3			
売上高							
外部顧客への売上高	292,663	456,477	502,916	236,172	1,488,230	-	1,488,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	14,274	22	2,640	17,937	17,937	-
計	293,663	470,752	502,939	238,812	1,506,167	17,937	1,488,230
セグメント利益	110,284	48,026	133,705	27,467	319,484	183,952	135,531

(注) 1. セグメント利益の調整額 183,952千円には、セグメント間取引消去 1,553千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 182,399千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. ITソリューション事業につきましては、株式会社インフォーテックを平成24年2月17日付で子会社化し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成24年3月31日としたため、当第2四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれんの発生益）

ITソリューション事業において、当社は株式会社インフォーテックの株式を取得し連結子会社としました。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8,142千円であります。

（7）重要な後発事象

該当事項はありません。